

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第8回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討について（公開）

3 開催日時

令和6年1月31日（水） 午後5時から午後5時45分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員： 村田敏昭（会長）、川住健作（副会長）、山井広子（副会長）
阿部清隆、石川美恵子、大瀧幸治、加藤國治、小林雅史、高橋敏光、
高橋 誠、高宮宏一、長 和子、平良木美佐江、益田侑季（欠席2人）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、滝澤副所長、石黒係長、難波主任

8 発言の内容

【難波主任】

- ・ 石川委員、神崎委員、土屋委員を除く13人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

【村田会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：平良木委員と長委員に依頼
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・ 配布資料の確認
- ・ 次第に基づき、議題の確認

【村田会長】

- ・ 「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

— 次第3 議題（1）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討について —

【村田会長】

次に、次第3 議題（1）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討に入る。

【難波主任】

- ・ 当日配布資料No.1、2により説明

当日配布資料No.2の「金谷区の地域活性化に向けたアクションプラン（案）」は、当日配布資料No.1「（2）誰かが意見書のたたき台を作り、それを基に議論すればよいのではないか。」という意見を受けて前回の会議後に小林委員から事務局に意見書の骨子として提出されたものである。

正副会長と事務局で市への意見書の提出が可能か検討したが、この意見書の骨子を基に完成を目指すとしても、今月と2月の残りの会議で意見書を完成させ提出することはスケジュールを考えると困難であるとの結論に至った。

【村田会長】

ただ今説明があったように、スケジュールを考えると意見書を完成させることは難しいと思う。提出を見送ったほうがよいのではないかと考えているが、皆さんの意見はいかがか。

【小林委員】

三役と事務局で検討されたように、本日とあと1回の会議で結論に至るのは難しいと思うので、来年度以降に引き継いでいただければよい。

【村田会長】

次期の委員に引き継ぎ、さらに協議していただき、意見書を形づくっていくということにして今期での提出は見送るということに決定してよろしいか。

(「よし」を確認)

次に、前回の会議でいただいた意見に関連して、事務局から市の観光振興課に照会をし、回答があった。これについて事務局から説明を求める。

【難波主任】

- ・当日配布資料No.1により説明

BMX場敷地の利活用等について説明する。前回いただいた意見に関連し、ヨーデル金谷周辺の土地を所有する上越市観光振興課に対して照会し、所見の回答があった。

(5)の池の周囲の散策については「安全管理上の課題があることから、散策道の整備を許可することは難しい」との所見だった。

次に、(6)スキージャンプ競技場のスロープ周辺の利活用については「スロープ周辺は湿地になっている箇所もあり、公園としての利活用は難しいと考えている。また、現時点で市として当該箇所を公園として整備する考えは持っていない」との所見だった。

一方で、(3)BMXコースのエントランスエリアの一部開放、(4)トイレ脇の鎖の位置をずらすことについては「市及びBMX関係団体との協議は必要となるが、運営も含め地域が主体となって活動することについては、市として否定するものではない」との所見であり、今後、市や関係団体と協議を行っていく可能性があると思う。

本日は、BMX場敷地の一部の利活用方法、例えばこれまでの意見にもあったようにベンチを設置してテイクアウトの商品を食べられるようにする。あるいは、雨が降っても靴が汚れないような公園とするなど、できるだけ具体的な協議を進めていただきたい。その際、前回の当日配布資料No.1、ヨーデル金谷周辺の地図もご覧いただき、利活用のイメージの参考としていただきたい。

最後に、会議の進め方に関連して本日は観光振興課の所見を踏まえた上で前回に

引き続き協議していただきたい。資料No.1（7）の意見にあるように、株式会社ミーナハイペの提案に対し地域協議会としての考え方をお返しすることも必要と考えており、2月の会議では、12月と本日の会議での意見及び観光振興課の所見をまとめた文書を委員に確認いただいた後、ミーナハイペにお渡ししたい。

【村田会長】

今の説明に基づいて、BMX場の敷地の利活用の方法等について皆さんと協議をしたい。具体的なプラン等の意見を伺いたい。

【小林委員】

ミーナハイペが考えている手作り公園のエリアとして、BMX場のコースの中にまで入り込むつもりはおそらくないと思う。トイレからBMX場のコースまでのエリアを私はエントランスエリアと表現したが、この芝生と池の南側のほとりとトイレ周辺だけをターゲットにしたほうが話はスムーズに行くのではないか。ここなら椅子やテーブル、ベンチを置くことは十分に可能だし、来場者に利用してもらえ空間になるのではないか。

【村田会長】

手作り公園は、ミーナハイペが事業を展開していくことになるのか、それとも他の地域団体等と相談してもらいながら地域協議会が支援して実現につなげるのか、その辺りの見解はいかがか。

【小林委員】

浅見社長の話にもあったように、自分たちでできることには限りがある。地域に愛される公園にすることが前提になるので、できるだけ地域住民が関わった上で少しずつでも前進していくというスタートができればよいのではないか。そこで、議論の途中になっているが、それを応援する団体、組織が必要になるのか、金谷区の中で今ある組織にお願いして協力してもらおうのか検討する必要がある。すべて行政に任せて「お金をください」ということではなく、地域が手作り公園を作り上げていくという基本スタンスは譲れないと思っている。

【村田会長】

観光振興課が事務局となっている金谷山公園の将来計画あり方検討会の第1回

会議が、2月15日に行われる予定である。私たちが今協議をしていることと、この金谷山公園の将来計画のあり方検討とは、重なる部分もある気がする。

金谷区地域協議会にも会議の案内が来ている。第1回は、委員の顔合わせだと思う。委員は、金谷地区の主たる団体から選ばれており金谷地区振興協議会、金谷地区町内会長会、金谷観光協会、レルヒの会など15団体くらいに声掛けをされているようだ。

この検討会で、手作り公園の件を意見として出すことができるのか。できたばかりの検討会なので、地域協議会とどのようにつながっていけばよいのかまだ分からないが、地域協議会からも意見を出してほしいということになると思う。検討会とのつながりの中で、私たちが議論しているヨーデル金谷を中心とした手作り公園の実現に結びつけばよいと思っているが、いかがか。

【阿部委員】

観光振興課で金谷山公園周辺の整備をこれからどう進めていくかについて検討するということは、一步も二歩も前進していると思う。

ただ、ヨーデル金谷山周辺にどのような公園を造ることを私たちの構想とするのか。実現のためには、まず現場のエリアを確定しなければならず、私たちが考えている構想のエリアをどこにするのか。それを現場ですり合わせしていかないと、なかなかはっきりしたものが私たちには出てこない。それをはっきりさせた上で、例えば先ほど言われたような団体や所管課である観光振興課とのすり合わせをしていく方法にしないと、計画を聞く側も言っている側もよく分からないということになる可能性がある。

今は冬期間なので、現場を確認するにも積雪があって難しいが、現場の状況を確認した上で私たちの構想を練り上げ、進めていくほうがよいのではないか。先ほどの意見書の提出については、早急に出すのではなく次年度も含めた中で意見書の提出を考えていったほうがよいのではないかとということで意見を統一された。それも踏まえれば、先ほど言った方法で進めたほうがよいと思う。

【村田会長】

阿部委員から地域協議会委員の私たちが現場で公園のあり方を確認していく必

要性があるという意見があった。私たち委員も机上の議論だけではなく足を使って現地に赴かないと、プランが完成していかない。

事務局から話があった、ミーナハライペに対する地域協議会の意見を集約したものを本日と2月の会議でまとめ、お渡しすることが差し迫っている。ミーナハライペにどのような返事をすればよいのか、皆さんもお考えいただきたい。きちんとまとまらなくても、次期の委員に譲るとか、暖かい時期になったら合同で現地視察をしようといったことを言えるとよい。

【高橋敏光委員】

会長から話のあった、2月15日のあり方検討会では、金谷山レルヒロードに沿ったエリアについて協議するのであって、その外側については協議しないと思う。また、ボブスレーとリフトが老朽化しているから、今後どうするのか協議をするのだろうと思う。それが終わってから金谷山公園をどのように整備するか議論するのであって、今、BMX場では全国大会まで開催しているから手を加えることはできないと思う。

ミーナハライペは「誰もが集まって四季折々で楽しめる、木陰を利用して食事ができる公園のような場所を作りたい」という考えを持っている。そのために私たちに何ができるか、皆さんときちんと話していかなければならないし、この会場だけで議論しても決まらない。阿部委員も言われたが、現地を見てどのくらいの広さがあるのか確認し、新しい金谷地区公民館が完成したら玄関先に近辺の農家の人に出店して金谷区産の野菜や米を販売してもらおうなど、農家の人とつながることを考えなければならないと思っている。

金谷地区公民館は、何か特色を作らなくてはならない。現在の金谷地区公民館の館長を呼んで、一緒に検討しなければ前に進まないと思う。いずれにしても、地区公民館が金谷区内に移転するのは本当に素晴らしいことである。平成28年頃からお願いしてきてやっと実現できた。館長とも話し合っただけでヨーデル金谷と公民館をどのようにつなげるか考えていきたいと思う。

まず、阿部委員が言った現地視察を行ってほしい。

【村田会長】

金谷地区公民館は、来年の春に完成予定である。公民館ができてから議論するのでは遅いので、完成前のあと一年間で協議、打合せをして計画を進める必要があると考えている。他にBMX場やヨーデル金谷周辺の土地の利用方法等について、意見はあるか。

【高橋敏光委員】

2月15日のあり方検討会での金谷山公園を今後どうするのかという話だが、私が聞いた話では、まず先ほど言ったレルヒロード、会津墓地の道のエリアについて協議することである。老朽化するボブスレーとリフトに今後さらにお金をかける必要があるのかという点について、主に意見を聞きたいのだろうと思う。検討会は、その協議から始められると思われるので、地域協議会は今行っている協議を進めていくべきである。検討会のボブスレー、リフトの話と一緒にするとややこしくなると思う。地域協議会では、公民館とヨーデル金谷との関係について協議したらどうか。

【村田会長】

高橋敏光委員が言われたとおり、私のところに金谷山公園のあり方検討会発足について、観光振興課の担当者が説明に来られたとき、確かにリフトのことをメインに語っていた。リフトを整備するのに多額の費用捻出が必要だそうで、リフトの存続についての協議がメインのような気がする。それに関連して検討会の名前を金谷山公園のあり方という総合的なものにされたのだと思う。

検討会でリフトについての協議がされるのであれば、今私たちがしている手作り公園の実現に向けた協議とは切り離して考えるほうがよいと考える。金谷山公園のあり方検討会とは別に協議していき、道を分けて進むことにしたい。

それでは、これまで協議をしてきたことをまとめ、ミーナハライペに結果を報告するということとしたい。

以上で、次第3 議題（1）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討についてを終了する。

（石川委員到着）

— 次第4 事務連絡 —

【村田会長】

次に次第4「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・第9回協議会：令和6年2月28日（水）午後7時から 福祉交流プラザ
※活動報告会 午後6時30分から 福祉交流プラザ
- ・当日配布資料：高田区地域協議会の「地域活性化の方向性」
春日区、和田区、吉川区、板倉区の地域協議会の意見書
男女共同参画推進センター チラシ
ウィズじょうえつからのおたより

【村田会長】

事務局の説明のとおり、2月28日に第9回の地域協議会が予定されているが、その前に30分間、活動報告会を行う。事務局から委員の出席は任意との話があったが、委員には可能な限り活動報告会から出席していただきたい。会場は、第1会議室なのか。

【難波主任】

3階の第6会議室である。部屋の広さは、第1会議室と同じである。

【高橋敏光委員】

地域独自の予算を活用された団体の発表はないのか。

【難波主任】

地域活動支援事業とは違って地域独自の予算については、提案団体からの報告は予定していない。地域協議会の4年間の総括の報告をするということである。

【村田会長】

1年に約11回の会議があり、4年間で40数回の会議を行い、皆さんとここで議論を交わしてきた。それらをかいつまんで報告する会なので、ぜひ出席をお願いしたい。

【高橋敏光委員】

報告会では、委員全員が何かを話すことになるのか。

【難波主任】

委員から発言していただくことはなく、正副会長もしくは事務局から活動報告をする予定である。

【村田会長】

4年前も同様に行ったのか。

【難波主任】

そうである。

【村田会長】

委員の発言の有無については、その場の状況によっては委員として発言していただくこともあり得ると思うので、本日出席の委員にはぜひ活動報告会に出席いただくことを重ねてお願いしたい。

他に質問はないか。

【小林委員】

活動報告会では、大体どのくらいのボリュームの資料で説明される予定なのか。

【難波主任】

4年前の例を挙げると、A3サイズの資料1枚程度で考えている。

【小林委員】

例えば、地域活動支援事業に何件申請があり、いくら使ったなど、大まかな説明となるのか。

【難波主任】

これまで行ってきた自主的審議事項の概要や審議期間、年度ごとの地域活動支援事業の審査、採択の件数など、総括的な報告をすることを考えている。

【小林委員】

承知した。

【難波主任】

もう一つ、地域協議会委員の改選についての案内も行う予定としている。

【村田会長】

報告会の開始時間は、午後6時30分であり、定例の地域協議会より30分遅い。地域の方が参集しやすいようにこの時間設定としたものである。

他にどうか。

【小林委員】

別件だが、本日、当日配布資料でいただいた各区地域協議会から出されている意見書について、例えば12月に出された意見書の場合は、通常だと地域協議会にどれくらいの期間で行政から回答が来るのか。

【難波主任】

意見書を受けてからおおむね1か月以内に回答することになっている。

【村田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。